

理系女子のロールモデル探し!

先輩に聞く!

vol.

4



プログラマーへの 道しるべ

情報

オリンピック

Presents



世界中の中高生が競う!

情報オリンピックとは?

1 「情報」を対象とした科学オリンピック

国際科学オリンピックは、世界中の中等教育課程の生徒や学生（日本では主に中高生・高専生）を対象に、科学の分野ごとに毎年開催される国際コンテストのこと。このなかで、情報科学（informatics）にフォーカスした大会が、国際情報オリンピックと呼ばれます。1989年にブルガリアで第1回国際情報オリンピックコンテストが開催。2018年には第30回大会が日本で開催されました。

2 競うのは、効率的で優れたアルゴリズム

課題を解決するための方法や計算手順であるアルゴリズムを考案し、プログラムとして実装することによって、その優劣を競い合います。例えば、1本のにんじんから星形を20個つくる場合、「輪切り」からつくる場合と「あらかじめ星形に切った」にんじんからつくる場合とでは、その工程に190回もの差が生じます。今話題となっているAIも優れたアルゴリズムの結晶です。



日本代表選手を選抜

日本情報オリンピック



参加者募集!

第6回 女性部門

JOIG2025 / 2026

第6回ヨーロッパ女子情報オリンピック (EGOI 2026)

3 女子中高生が対象の部門もスタート

「日本情報オリンピック女性部門」は情報科学に取り組む女子中高生の奨励を目的としたプログラミングコンテストです。成績上位者（原則として、金賞1名、銀賞1名、銅賞2名）はメダルが授与されます。日本情報オリンピック第6回女性部門 (JOIG 2025 / 2026) は、2026年7月に開催される第6回ヨーロッパ女子情報オリンピック (EGOI 2026) へ派遣する日本代表選手選考会を兼ねています。



山口利恵

情報オリンピック日本委員会 理事 / 東京大学 准教授

IT企業で活躍する女性の先輩5名に話を伺いました。得意のプログラミングでエンジニアとして働く方もいれば、知識を生かして企画などに携わる方も。ものづくりが好きな方は、一度挑戦してみると楽しいかもしれません。プログラミングができると、将来の選択肢が広がりますよ。ぜひ今後の進路の参考にしてみてくださいね。

2025年度開催日程

STEP 1 JOI 一次予選と共通・オンライン(web)で開催

- 第1回 2025年 9月13日(土) 14:00~15:20
- 第2回 2025年10月12日(日) 14:00~15:20
- 第3回 2025年11月15日(土) 14:00~15:20

STEP 2 JOI 二次予選と共通・オンライン(web)で開催

2025年12月7日(日) 13:00~16:00

STEP 3 JOI セミファイナルステージと共通

- 2026年1月25日(日) オンライン(web)で開催
- 2026年2月 1日(日) 東京会場で開催

STEP 4 JOI ファイナルステージ

2026年3月20日(金)~3月24日(火) 東京会場で開催
期間中に行われる競技結果に基づき、第6回ヨーロッパ女子情報オリンピック (EGOI 2026) へ派遣する日本代表選手(4名)を決定します。

国際大会 EGOI 2026

2026年7月
第6回ヨーロッパ女子情報オリンピック



How is the tournament?

参加費

ステップ1・2は無料。ステップ3以降は5000円。EGOI 2026 派遣費用の一部は自己負担となる可能性があります。

競技実施方法

本年度の実施要領は、こちらの情報オリンピックウェブサイトをご覧ください。

応募資格

高校3年生以下の女性

※ただし、JOIG ファイナルステージに進出できるのは高校2年生以下。



Contents

02 中高生の国際大会! 情報オリンピックとは?

04 先輩に聞く! インタビュー

日本IBM
渡邊理彩さん

08 株式会社NTTデータ
川口瑠惟さん

08 株式会社いい生活
山田瑞季さん

10 EGOI 2024レポート
オランダ大会

12 株式会社オービックビジネスコンサルタント
野口慶美さん

14 鈴与シンワート株式会社
山口沙南さん

16 役立つwebサイト一覧



お問い合わせ先

一般社団法人
情報オリンピック日本委員会 (JCIOI)
TEL : 03-6681-6591
(平日 午前10時~午後5時)
E-mail : info@ioi-jp.org

情報オリンピックウェブサイト

<https://www.ioi-jp.org/>

検索



プログラマーの道しるべ

プログラミングやその周辺の技術や知識を使って活動している女性の先輩方に、お仕事内容や学生時代についてのお話を伺いました！



※写真は取材当時のものです。

Profile:

日本IBM

コンサルティング事業本部データ&テクノロジー変革ソリューション事業部 Watson Deliveryチーム ITスペシャリスト

渡邊理彩さん



2. どんな仕事をしているの？

A. IBMは、企業向けのITコンサルティングや、最新のテクノロジーを利用したシステム導入と運用などを行うグローバルカンパニーです。本社はアメリカですが、世界170カ国以上にIBMの拠点があり、日本IBMは日本法人にあたります。私が所属しているのはWatson Deliveryチームというところです。Watson(ワトソン)とは、話した内容をテキスト起こしたり、英語から日本語に翻訳したりを叶えてくれるツールです。私はこのワトソンを使って、お客様の業務改善のためのアプリをつくったり、システムの要件検討や開発を担当したりしています。



事業本部にて特別賞を受賞した時の様子。左から2番目が渡邊さん

新入社員へのラウンドテーブルでプレゼン中。新入社員が先輩社員に困りごとを聞く座談会



2. 最近のプロジェクトは？

A. 定年退職が迫っている社員の知識や知見を会社に残すアプリをつくりました。お客様の会社に、「匠(たくみ)」と呼ばれる社員がいたのですが、誰かが質問したらなんでも答えてくれるような存在でした。しかし、退職が決まっています、このままでは若手社員が困ってしまう…ということで、匠が退職しても知識が社内で継承されるよう、アプリを開発しました。また、翻訳アプリをつくった際には賞をいただきました。資料を日本語から英語に、または他の言語に翻訳するツールです。私は主に開発を担当しました。その他のメンバーはプロジェクト管理や全体の進捗管理、他のお客様への売り込みをサポートしていました。ほかにも、新入社員のラウンドテーブルで、新入社員が先輩社員に仕事の内容や困ったことを聞く座談会の時には、プレゼンなどを行いました。



2. 大学ではどんな研究をしましたか？

A. 津田塾大学の情報科音声の声質変化分析を行っています。単語に感情が乗ることでイントネーションが変わることを分析し、感情の相関関係や声色、声質を研究していました。現在の仕事においても、音声認識をアプリに組み込むことがあり、役に立っています。また、大学時代は、小学生向けのプログラミングスクールのメンターを3年半やっていました。ScratchやiPhoneのアプリ開発、webアプリの開発を教材に教えていました。当時のメンバーとは今でも仲が良く、毎月遊んでいるほどです。アルバイトの他にも、女子学生向けのハッカソンやカンファレンスの運営、インターンシップに参加していました。



大学時代、小学生向けプログラミングスクールで運営を経験。当時の仲間とは今も仲よし

2. 理系に進んだ理由を教えてください。

A. 高校時代に数学が得意だったことがきっかけです。大学進学にあたっては、文系寄りの職業にも興味があり、文系・理系どちらに進むか決め切れていませんでした。ただ、せっかく大学で学ぶのであれば世界で使える技術力を身につけたいと思い、プログラミングができる理系を選びました。

プログラミングは大学から始めたのですが、小学校高学年のときに、学校の友人とのチャットが流行っていて、友人からコマンドの使い方などを教えてもらっていました。今になって思うと、この経験が最初の一步だったのかもしれない。

2. 中高生にメッセージをお願いします！

A. 「プログラミングが大好き」という気持ちを大切に、プログラミングを楽しんでください。そしてそのあと、自分のスキルで誰かの困りごとを解決できないか、より良い社会にできないか、ぜひ周りに目を向けてみてほしいと思います。プログラミングを使って解決できる個人や企業、社会の課題はたくさんあるので、ぜひ自分のスキルを活かしてさまざまなことにチャレンジしてほしいと思います。

Comment by 山口利恵先生

渡邊さんが関わっているワトソンは、「IBMといえばワトソン」というぐらい有名で、言語を理解する人工知能システムとしての先駆けでした。このプロジェクトに憧れた技術者も多くいたものです。そんなワトソンを活用したプロジェクトでの中心的な役割についての話は、とても興味深い内容でした。



Company Data

日本IBM

基礎研究、ビジネス・コンサルティングから、ITシステムの構築、保守などを通じて、企業変革やデジタル・トランスフォーメーションの支援事業を行う。

Risa Watanabe's favorites

(プライベートを見せてください！)



自宅の仕事環境は、デスクトップパソコンとタブレットが1台ずつです。お花を置いて、気分転換しています。



ボードゲームが趣味です。大学時代の友人と家でゲームをした時の写真。奥にひょっこり猫が覗いています。



大学時代の友人と集まって、家でタコスパーティーをしました。食材を用意して、各自で皮に包んで食べました。



Rui Kawaguchi

Profile:
株式会社NTTデータ
テクノロジーコンサルティング事業本部
デジタルサクセスコンサルティング事業部
企画・開発

川口瑠惟さん

Q. どんな仕事をしているの？

A. NTTデータは、公共、金融、法人などさまざまなお客様に対し、コンサルティングからシステムづくり、システムの運用に至るまで、幅広いITサービスを提供している会社です。そのなかで私はお客様の要望に対してコンサルティングから関わらせていただき、実際にシステムをつかってサービスを提供する仕事をしています。たとえば、生成AIとNTTデータが独自開発した情報収集プログラムを用いて、情報検索を行うサービスを提供しています。

Q. 最近のプロジェクトは？

A. 2024年4月に社内のさまざまな情報を一括検索できるサービスをリリースしました。社内のサイトのどこに何があるかわからない場合でも、検索すればほしい情報が取り出せるので、業務がより効率化したと感じています。現在は社外のお客様に向けても提供していくという段階です。企画・開発したサービスに対して、「検索精度が高いね」など褒めていただいた時には、自分たちがつくったサービスが、お客様にとって価値のあるものだったと感じられて、嬉しい瞬間です。

Q. 大学ではどんな研究をしましたか？

A. 大阪大学の医学部保健学科 検査技術科学専攻で、基礎医学や生物学をベースとして、血液検査や病態検査など医療の検査の部分について学びました。医学部に進んだきっかけは、大阪大学のオープンキャンパスで医学の研究発表を聞いて、「最新の医療ってここまでできるんだ」と感動し、



医療の道に興味を持ったからです。

学部の卒業時。「大変なことも多かったのですが、卒業式は達成感でいっぱいでした」

Q. 大学院ではどんな研究をしましたか？

A. 研究対象はすい臓がんです。すい臓がんは原因が明確でないこと、予後が不良なことでは知られている病気で

す。そこで、消化器系の疾患は病原微生物感染が原因になっていることが多いという点に着目して、すい臓がんを引き起こす微生物の特定と発症のメカニズムについて研究していました。実際に疾患されている方の一部検体をいただき、どんな微生物が多く発現しているか、そこから微生物を特定していくという内容でした。大部分は生物系の知識でしたが、実験のデータを確かめる際に情報系の知識も使っていました。

Q. 理系に進んだ理由を教えてください。

A. 高校時代に理系科目が得意だった（文系科目が苦手だった）というのがありますが、理系の学びを通じて、身近な事象や問題を論理的に理解し、解決する力を身につけたいと考えたのが理由の一つです。また、当時は医療分野で人の健康に貢献できる仕事に就きたいという思いを持っていたことも大きな動機となりました。

Q. IT業界を目指すきっかけは？

A. 医療系への就職を考えて大学に進学したのですが、研究に携わっていくなかで、医療データやAIを使った研究が多いことを学生ながら感じていて、情報系に興味を持つようになりました。医療と情報を掛け合わせた領域がやりたいと思い、情報の道に進むことを決めました。小中高時代から理系の科目が好きでしたが、プログラミングの授業は受けたことがなく、就職を機に本格的に勉強しました。現在では、IT業界に限らず、さまざまな分野のお客様と

コミュニケーションをさせていただく機会があり、関わる領域を広げていけるところが楽しいですね。

Q. 中高生にメッセージをお願いします！

A. プログラミングの魅力は、アイデアをかたちにできることだと思います。自分が実現したいアイデアをじっくり考え、試行錯誤を繰り返しながら具体化していく過程は、学びや成長の基盤となると考えますし、周囲の人々の困りごとや社会の課題に目を向け、それらの解決に向けて自分ができることを見つけていくことで、皆さんのプログラミングがより価値あるものになると考えます。今後の社会において、プログラミングのスキルはますます重要性を増していくと考えていますので、楽しみながら未来の可能性を切り開いていただければと願っています。私も皆さんに負けないように頑張ります。

Comment by 山口利恵先生

やわらかい印象の川口さんですが、その雰囲気反して、常に目標を持ち、アグレッシブに物事を進めている姿が印象的でした。詳しくお話を聞く前は、進学した医学部での学問と今のお仕事はだいぶ違うように感じていたのですが、いろいろな経験をお仕事に活かしているのも素敵でした。



Company Data

株式会社NTTデータ
システムインテグレーション事業、ネットワークシステムサービス事業、その他これらに関する一切の事業を行う。

Rui Kawaguchi's favorites

(プライベートを見せてください！)



スノーボードは大学時代に始めました。普段の業務では座りっぱなしなので、休日ではできるだけ体を動かしています。



大学時代は100人規模のよさこいサークルに所属していて、地方のお祭りなどに参加させていただきました。



大学時代の友人たちと旅行に出かけることが多いです。長期休暇をいただいた時は海外に出かけています。



Profile:

株式会社いい生活

ウェブ・ソリューション開発グループ
仲介ソリューション本部
開発

山田瑞季さん

Q

どんな仕事をしているの？

A. 株式会社いい生活は、不動産会社の業務効率化を支援するシステムやアプリケーションを開発している会社です。なかでも、「仲介業務」と「管理業務」を行う不動産会社向けにサービスを提供しています。「仲介業務」とは、家を買いたい人や借りたい人と物件をつなぐ役割を担うものです。一方、「管理業務」は、すでに物件に住んでいる入居者やオーナーに対して、賃貸管理や建物管理などのサービスを提供するものです。いい生活では、「仲介業務」には4つのチーム、「管理業務」には2つのチームがそれぞれ対応しています。私は仲介会社向けのサービスを提供している部署に所属し、物件掲載から来店対応まで、仲介業務の各プロセスを支えるサービスを開発・提供しています。

Q

これまでのプロジェクトは？

A. 毎年、大学生向けにサマーインターンを行なっています。数人の学生がチームを組んで、短期間の開発に取り組めます。インターンの運営は、入社1年目の社員がメイ

ンで担当するのが恒例となっていて、私もその年、メンターとして1つのチームを担当しました。私の主な役割は、プログラムを書くというより、チーム編成の企画や技術講義の資料作成など、事前準備が中心でした。講義用の資料作成に加え、学生がスムーズに開発に入れるよう、テンプレートとなる開発環境もあらかじめ整えて配布しました。

サマーインターンの学生からの質問と一緒に考えている山田さん(左)



Q

大学では
どんな研究をしましたか？

A. 東京大学の文系の文科二類に進学しました。東大では2年生のときに進学先の学部を決める「進学選択」という制度があり、そこで工学部システム創成学科を選びました。もともとは経済学部志望でしたが、工学部でも経済学に近い内容が学べることを知り、軽い気持ちで選んだのがきっかけです。卒業後はそのまま東大に残り、大学院の学際情報学府・先端

表現情報学コースへ進学しました。ここでは、高校の「総合的な探究の時間」で活用できる、探究テーマ決定のためのワークショップを開発し、その効果検証に取り組みました。私自身、文系と理系の境界領域に関心があり、なかでも「科学コミュニケーション」に特に興味を持って研究してきました。これは、科学や研究者の専門知を、一般の人々にどう伝え、どう受け取ってもらうかを考える比較的新しい分野です。

Q

プログラミングを
始めたきっかけは？

A. 東大では学部1年生の必修科目として「情報」の授業があり、そのなかでプログラミングにも触れる機会があります。1年生のときは正直なところ難しく感じてしまい、情報の最終試験で「情報法」か「プログラミング」のどちらかを選べたのですが、その時は「情報法」を選びました。その後、プログラミングやITに対してよりはっきりと興味を持つようになったのは、進路を考え始めた大学2年生の夏ごろでした。

Q

IT業界を
目指すきっかけは？

A. 学部生の時に参加したキャリアイベントがきっかけです。女子学生を対象とした進路選択や就職に関するイベントで、説明会というよりも、気軽に話が聞けるカジュアルな雰囲気での会でした。その回のテーマが「IT業界で活躍する女性社員の話」で、複数の企業から女性社員の方々が参加されていて、それぞれの仕事内容について紹介してくれました。文系出身の方も多くいて、「文系でもITの世界で働ける

んだ」と気づかされたのが大きかったです。

「ITの仕事ってやっぱり数学ができないとダメなんですか？」という質問に、「数学はほとんど使いません」と答えている方もいて。日々の業務ではチームでコミュニケーションを取りながら、助け合って仕事を進めているという話をされていて、「数学が得意じゃなくても、文系でもITの世界に入っているんだ」と思えるようになりました。

Q

中高生にメッセージを
お願いします！

A. プログラミングが好きな方は、「プログラミングが好き」という気持ちを買ってほしいです。何かを好きになった経験や何かに夢中になった経験は、プログラミング以外の別のことに挑戦する時にも、自分の支えになってくれると思います。

Comment by 山口利恵先生

東大の文科二類から工学部への進路ルートは知っていましたが、実際にそのルートを選ばれている方のお話を伺ったのは初めてでした。山田さんの仕事は、文系と理系両方の教養学問が活かされていることが感じられ、いろいろな経験値がプラスに運ぶ、素敵なお話でした。



Company Data

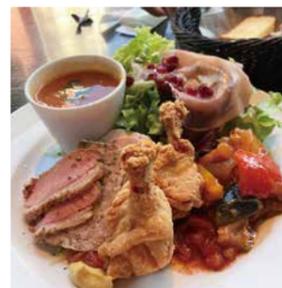
株式会社いい生活

「テクノロジーと心で、たくさんのいい生活を」というミッションのもと、「情報テクノロジー×不動産」を通じ、不動産業・不動産市場のDXを推進する事業を展開。

〇〇〇 < >

Mizuki Yamada's favorites

(プライベートを見せてください!)



オフィスの近くのレストランで昼食。ボリューム満点のワンプレートランチでおいしかったです。



本を読むのが好きです。仕事に役立つような本を購入し、休日や仕事終わりに読んで勉強しています。



昨年末にドイツへ旅行に行き、美術館を訪れました。美術館に行くのが好きで、日本などでもよく訪れています。

第4回
ヨーロッパ女子
情報オリンピック

EGOI
2024

オランダ大会を レポート!

オランダ・フェルトホーフェンで開催された大会の様子を、写真とともにお届け。57か国・地域から195名の選手が参加し、日本は金メダルが1名、銀メダルが2名、優秀賞が1名という結果に。全員が優秀賞以上の成績となりました!

オランダって どんなところ?



オランダ王国 基本情報 参照元：外務省

面積 41,864 平方キロメートル (九州とほぼ同じ)
人口 約1,776 万人
首都 アムステルダム
言語 オランダ語
宗教 キリスト教 (カトリック 18%、プロテスタント 13%)、イスラム教 (6%)、無宗教 (57%)、その他 (6%)



大会スケジュール

2024年7月21日(日)~7月28日(日)

- day 0 7.21(日) 壮行会 | オランダへ出発
- day 1 7.22(月) 開会式 | 練習
- day 2 7.23(火) 競技1日目
- day 3 7.24(水) エクスカーション
- day 4 7.25(木) 競技2日目
- day 5 7.26(金) 閉会式
- day 6 7.27(土) 日本へ出発
- day 7 7.28(日) 帰国

いってきます!



参加メンバーの4名

左から、植田奈々子さん (Year 12)、藤居星さん (高3)、
旗智里奈さん (中3)、志村瑛美さん (高2)
※学年は当時のもの

大会成績は……

金メダル1個
銀メダル2個
優秀賞を受賞!



Exchange

エクスチェンジ

世界の選手たちと コミュニケーション

世界各国から訪れる選手たちとの交流の時間も。日本からのお土産を配ると、とてもよろこんでくれました。日本勢はおそろいの赤のはっぴを着用です。



誕生日でした!

オランダ大会 写真館

Netherlands



Memory

メモリー

ここだけの体験は 一生の宝物に

エクスカーションと呼ばれる休憩の時間には、映画を観に行ったり、アイスクリームを食べたり。期間中、植田さんが18歳になり、みんなでお祝い!



City

シティ

美しい街並みと 日本との違い

オランダを代表する水車はもちろん、街中にはデザイナーが手がけたユニークなオブジェも。日本と違う街並みを眺めるだけで、いい刺激になりました。



Team

チーム

選手たちの成功の 影には役員あり!

今年も先輩の役員メンバーが選手をサポート。難しい翻訳を担当したり、選手たちの相談に乗ったりと、大会の裏方としてしっかり支えてくれました。

役員は左から、随行者・高谷悠太さん (博士課程1年)、団長・米田優峻さん (大学4年)、副団長・大野菜さん (大学2年) ※学年は当時のもの



Profile:
株式会社オービック
ビジネスコンサルタント
開発部 主任

野口慶美さん

Q. どんな仕事をしているの？

A. 株式会社オービックビジネスコンサルタントは、会計ソフトの「勘定奉行」や給与計算ソフトの「給与奉行」といった、企業の基幹業務を支えるシステムをつくらせている会社です。私は製品を直接つくるのではなく、製品を作るための基盤や監視ツールの開発、ユーザーの使用状況の分析などを担当しています。例えば、「勘定奉行クラウド」という製品は、クラウド上のサービスになりますが、きちんと動いているか監視が必要になります。その監視を支えるためのツールなどをつくっています。機能改善に繋がる仮説を立てられた時はとくにやりがいを感じます。また、新しい技術に触れられるという楽しさもあると思います。

Q. やりがいはなんですか？

A. 私が属するプロジェクトは、エンドユーザーが利用する製品を直接開発するのではなく製品の基盤を支えるフレームワークを開発したり、インフラ基盤を整備したり、運用監視を支える社内ツールを開発したり、新技術の調査を

したり、縁の下の力持ちのような役割を担っているため、直接お客様の役に立っているという実感はなかなか持ちづらいのが正直なところ。その代わりに、新しい技術に触れられるという楽しさがあったり、身の回りにある課題に気付いて対策を講じ、運用後に効果測定をして実際に改善できたと感じられたりした時にはやりがいを感じます。

Q. 大学ではどんな研究をしましたか？

A. 岡山大学の経済学部で化粧品会社の広告宣伝効果について研究をしていました。就職活動を始めてすぐの頃は広告関連の会社を探していましたが、いろいろな会社を調べるなかでシステム寄りの会社に出会い、そこで拡張現実（AR）の話をしていて、面白そうだなと思ったのがIT系に進むきっかけでした。

Q. 経済学部に進んだ理由は？

A. 学生時代、国語や社会よりは、数学の方が好きだったので、数字を取り扱う経済学部に興味を惹かれました。それでも理系に進まなかったのは、高校で文系か理系を

選ぶ際、私の学校では理系を選ぶ女性が少なく、なんとなく文系に流れてしまったからです。

Q. 学生時代のエピソードは？

A. 大学では大学祭実行委員会のサークルに所属して、たった3日間の大学祭のために一年中分厚い企画書を準備して時には夜通し会議をし、夏は暑い中物品制作に励みました。正直、大学時代は学業ではなくサークル活動に勤んでいました。サークル引退後は岡山のお祭りである「うらじゃ」で踊るため、社会人サークルに参加し日々踊りの練習をして、踊り連として参加して楽しんでいました。



大学祭の実行委員を担当。カラオケ大会などさまざまなステージを企画

岡山の踊り「うらじゃ」の社会人サークル。野口さんは前列一番右



Q. 今後の目標は？

A. 会社都合ではなく、ユーザーが本当にほしいと思うものをつくれる開発者になりたいです。実現のために

は技術力やアイデア、人脈などいろいろ必要になると思うので、邁進していきたいと思っています。

Q. 中高生にメッセージをお願いします！

A. まずはプログラミングが好きということをとことん楽しんでほしいと思います。もちろん大人になってからも好きなことはできますが、学生時代と比べると好きなことにさける時間は限られてくると感じています。今のうちにしっかり楽しんでおけば後から後悔することもないと思いますし、好きなことに没頭したという経験がある人は、そのままプログラミングの職につくにせよ、全く関係ない職につくにせよ、必ず人生の糧として何かしら生きてくると思います。プログラミングに関わらず、大人になってから後悔することのないよう、何事も楽しみながら全力で取り組んでください。

Comment by 山口利恵先生

テレビCMなどで有名なソフトウェア「勘定奉行」の縁の下の力持ち的なお仕事をなさっている野口さん。クライアントの要望に応えるために、技術的に難しいということに加えて、相手の気持ちなどさまざまな配慮をしてくださる姿が印象的でした。



Company Data

株式会社オービックビジネスコンサルタント
企業業務に関するソリューションテクノロジーの開発メーカーとして、パートナー企業を通して、お客様の業務効率化に貢献するクラウドサービス等を提供。



Noguchi Yoshimi's favorites

(プライベートを見せてください!)



沖縄でSUPをしました。ドローンで撮影してもらいました。小さい白い2つの点が私たちです。



小さい頃から体を動かすのが好きなので、バスケやスノボ、ダンスにSUPなどは乗らず、食べてばかりでした(笑)。



クリスマスシーズンに友人とテーマパークに行きました。アトラクションには乗らず、食べてばかりでした(笑)。



Profile:
鈴木シンワート株式会社
 デジタルビジネスソリューション事業部
 開発

山口沙南さん

Q. どんな仕事をしているの？

A. 鈴木シンワートは、さまざまな企業や自治体、銀行などの「IT」に携わる仕事をしている会社です。物流企業「鈴木株式会社」のグループ企業です。私はデジタルビジネスソリューション事業部に所属し、営業支援ソフトというものを開発しています。これは、**人や会社を相手にもものを売ったりする仕事である「営業」の活動をより円滑にするための支援システムです。**営業の方が実際に獲得した案件や、営業に行った回数、それによって生み出された利益などのデータをダッシュボードという1枚の紙のようなものに落とし込む仕事をしています。

Q. やりがいはなんですか？

A. 実際に製品を使用するお客様の声が聞けた時にやりがいを感じます。ただお客様がやりたいことを叶えるだけでなく、企業が目指すかたちに本当に必要な要件なのか意識して業務に携わることができました。また、それぞれの業界の違いをくみ取りながら、構築をする点も面白いです。

Q. 大学ではどんな研究をしましたか？

A. 福岡県出身で、太宰府天満宮がある太宰府市で生まれ育ち、大学は九州大学の経済学部経済工学科に進みました。大学3年生のときにコロナが流行ったのですが、R言語を使って「これまでのコロナの影響から今後の感染者の増減を予測する」という論文を書きました。ただ、その頃コロナが始まったばかりというもあって、データが思うように集まらなくて、あまりいい結果は得られなかったという思い出があります。



九州大学でも新しく大きい「伊都キャンパス」のエントランスと夕焼け

Q. 学生時代のエピソードは？

A. 大学ではバスカサークルに所属し、活発に活動しました。旅行や飲み会、もちろんバスケットもたくさんしました。たくさんの思い出がありすぎて、話さきれないほどです。**福岡を離れた今でも先輩から後輩までたくさんのつながりがあり、人生においてとても重要な活動だったと感じています。**アルバイトに関しては、居酒屋やチェーン飲食店、コールセンターなどたくさん経験しました。私はストレスをため込むタイプではなく、嫌なことは引きずらない人間なので、コールセンターのバイトなどは性に合っていたと思います。

大学時代はバスカサークルに所属。人生において大切な仲間ができた



Q. 理系に進んだ理由は？

A. 正直成り行きでした。私の高校のクラスでは医学系を目指す子が多く、クラスの9割が理系選択だったため、友達と同じ理系に、という理由だったと思います。というのも、私は将来の夢が昔からなかったからです。ただ、**「やりたいことが見つかった時に実現できるように、できるだけ選択肢をせばめないこと」**を信条にしていたので、勉強は比較的真面目に取り組みました。志望する学科を決めるよりも先に文理選択をしてしまったた

め、大学は理系の学部には絞られましたが、中でも九州大学の経済学部を卒業した方たちの進路の分野が幅広くて、いろんな可能性を秘めているし、自分のやりたいことの幅を狭めない学部だなと感じたので、経済学部を目指しました。

Q. 中高生にメッセージをお願いします！

A. 中高生のときから夢中になれることがあるというのは、とっても素敵なことだと思うので、その気持ちを大切にしてほしいと思います。たとえプログラミングを仕事にしなくても、その知識は絶対に無駄になりません。好きという気持ちに忠実に従ってください。また、私と同じように夢がないという悩みを持つ人もいます。**夢がないのは無限の可能性があるので、物事に一生懸命に取り組めば、なるようになると思っています。**決して無駄な経験などないので、今できることを精一杯やるのが大事だと伝えたいです。

Comment by 山口利恵先生

広範囲で利用可能なシステムの開発に取り組んでいる山口さんは、さまざまな分野の専門家や関係者と積極的に連携を図りながら、日々その実現に向けて前進しています。技術を活かすためのさまざまな議論について、とても楽しそうに話してくださいました。



Company Data

鈴木シンワート株式会社
 「共生」の精神を掲げる、国内でも数少ない独立系（中立）のシステムインテグレーター。最新のテクノロジーを活用し、ICTソリューションをワンストップで提供

Yamaguchi Sana's favorites

(プライベートを見せてください！)



勤務地の大阪にある大阪城で撮った桜の写真です。約3000本の桜の木があり、お花見の名所になっています。



バスカサークル時代の友達と広島に行きました。色とりどりのチューリップが咲いていて、とてもきれいでした。



韓国・ソウルに行きました。日本では食べることのできない、生の牛肉のユッケをお腹いっぱい食べました！



役立つwebサイト&参考書一覧

サイトを
チェックしてみてね

「先輩に聞く!」動画や記事はこちらより詳しい内容が見られます!

<https://www.ioi-jp.org/seminar/course>

検索



プログラミングの勉強を始めてみたいと思ったら?

講習会「JOI 入門講座」(毎月開催中)

<https://www.ioi-jp.org/seminar/intro>

検索



プログラミング学習教材

AtCoder Programming Guide for beginners

<https://atcoder.jp/contests/APG4bPython>

検索



■『JOI公式テキスト Pythonで問題解決 情報オリンピックに出てみよう』(実教出版)

日本情報オリンピック(JOI)の公式テキスト。Pythonを用いてプログラミングとアルゴリズムの基礎を学ぶことができます。

■『競技プログラミングの鉄則～アルゴリズム力と思考力を高める77の技術～』(マイナビ出版)

情報オリンピックOBの著者が、競技プログラミングに必要なアルゴリズムや考察テクニックを解説した入門書です。

例題・演習問題が豊富に用意されています。



情報オリンピック女性部門に参加したいと思ったら?

日本情報オリンピック第6回女性部門 実施要領

<https://www.ioi-jp.org/joig/2025>

検索



大学受験にもメリット

推薦入試等でのメリットにつながります。国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)のページをご覧ください。

<https://www.jst.go.jp/cpse/contest/student/pdf/contest2025.pdf#page=7>

検索

